

双民館でソーセージ作り



12月9日(水)に双珠別地区の皆さんが集まり、双民館でソーセージ作りが行われました。

双珠別地区では、このソーセージ作り(公民館分館事業)が年に1度集まる唯一の恒例行事となっているそうです。

この日は双珠別地区の皆さん12人で10kgのソーセージを作りました。「年に一度だから作り方忘れちゃったわ」と言いながらも、手際よくソーセージ作りの工程を進めていました。

お声をかけていただき、地域おこし協力隊3人も体験させてもらいました。9時から始めてちょうどお昼に出来たてのソーセージを味わい、各家庭用に持ち帰りました。



■ 今月の表紙

例年1月号の表紙は、2つのへき地保育所の園児の写真を交互に載せています。今回は、占冠へき地保育所。園児たちが今年の干支のおさるさんのポーズをして、パシャ!

今年も元氣いっぱい、健康で過ごせますように。

■ 編集後記

新年、あけましておめでとうございませう。

昨年は村の重点政策「森林の利活用」として、新ストロップの設置やストロップ・新の補助金制度、そして占冠産の木のベンチなど、村の自然を生かした取り組みが進められました。木読(こどく)に入ると、ズーッと入っていたくなります。私も歳なのか、自然の木に癒しとぬくもりを感じますね。(笑)

ここで一句、「村の自然」とかけて「村人が生きていくために必要なこと」と解く。その心は!

「どちらも「木(気)づかい」が必要でしょう。」(なんて)

今月号は昨年の秋の住民懇談会の内容を掲載しました。「意見・要望」とともに、村の良さがあるからこそ、ここに安心して住み続けたい思いも感じられます。「村はいろいろやっているが、PR不足」の声もあり、改めて村の魅力をお伝えしていきたいと思いました。

今年も、住民の皆さんの思いが合わさる「協働の村づくり」が進む年となりますように!

■ 森田

■ 編集後記

新年、あけましておめでとうございませう。

昨年は村の重点政策「森林の利活用」として、新ストロップの設置やストロップ・新の補助金制度、そして占冠産の木のベンチなど、村の自然を生かした取り組みが進められました。木読(こどく)に入ると、ズーッと入っていたくなります。私も歳なのか、自然の木に癒しとぬくもりを感じますね。(笑)

ここで一句、「村の自然」とかけて「村人が生きていくために必要なこと」と解く。その心は!

「どちらも「木(気)づかい」が必要でしょう。」(なんて)

今月号は昨年の秋の住民懇談会の内容を掲載しました。「意見・要望」とともに、村の良さがあるからこそ、ここに安心して住み続けたい思いも感じられます。「村はいろいろやっているが、PR不足」の声もあり、改めて村の魅力をお伝えしていきたいと思いました。

今年も、住民の皆さんの思いが合わさる「協働の村づくり」が進む年となりますように!

■ 森田



■人口・世帯数 (11月末住民基本台帳登録数)

人口	男	女	世帯数				
1,183人 (-12)	577人 (±0)	606人 (-12)	681 (-12)				
《うち外国人の人数 61人》 ※ () は前月の増減							
中央	占冠	双珠別	トマム	出生	死亡	転入	転出
670人	112人	49人	352人	1人	0人	11人	24人

■印刷/株総北海
 森林資源保護のため再生紙を利用しています。